

「街を4分割して持ち帰る(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

3年生の子どもたちが数か月かけて作った「街のジオラマ」も、いよいよ解体の時期がやってきた。3年生の教室は、広いワークスペースがあり、こうした大きな作品も比較的自在に展示・保管が可能だが、移動先の4年教室にはそのようなスペースはない。その教室移動が数日後に迫ってきたのだ。



ジオラマのボードは4分割にして、各自が持ち帰ることにした。分割する前に、思い出がたくさん詰まった「わたしたちの街」を囲んで、記念撮影!



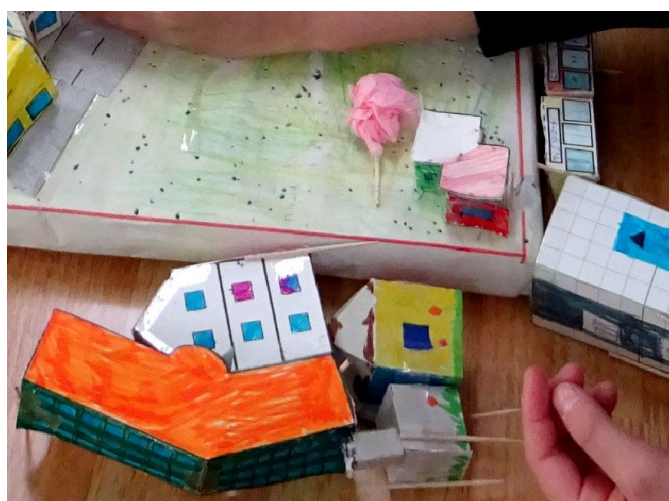
ボード(土地)を分割するには、まず所狭しと設置されていた構造物を一旦撤去しなければいけない。建物は民家、商店、学校、工場、駅など多彩だ。橋や港の栈橋、灯台などもある。乗り物もたくさんあり、電車、都電、バス、自動車なども、切断の邪魔にならないように、すべて一時撤去した。



建物も乗り物も、すべてスチレンボードに楊枝をさして固定してある。撤去は慎重にしないと、楊枝が折れたり、建物を造っている紙が破れてしまう。



うまく引き抜くと、このように楊枝がついたまま撤去できる。この状態なら、ボードを4分割したあとに「再開発」する時に、短時間で効率よくできる。



一時撤去された建物が増えてきた。学校、3階建ての家、商店などが見える。一つひとつが、子どもたちが一生懸命に作った、大切な建物だ。